

もったいないの心を大切に!

No.37

環境タイムズとやま

木下 一哉
武秀 様

富山県環境保全協同組合 発行所/富山県富山市野々上字地送6番地 TEL (076) 434-2802 FAX (076) 434-4440
URL <http://www.kankyo-hozen.net/toyama/>

原野 誠氏「環境省環境再生・資源循環局長表彰」 受賞披露祝賀会



原野 誠氏受賞披露祝賀会

【主な記事】

- ・ 理事長挨拶
- ・ 第39回通常総会
- ・ 令和7年度事業計画
- ・ (一社) 日本環境保全協会定時総会
- ・ (一社) 日本環境保全協会賀詞交歓会
- ・ 北陸環境保全協会全体会議 (石川県)
- ・ 能登半島地震・豪雨災害の復旧支援活動シンポジウム
- ・ 第33回行政懇談会
- ・ 富山県生活環境文化部環境政策課との新年研修会
- ・ 一般廃棄物適正処理推進大会in香川
- ・ 受賞披露祝賀会
- ・ 嶋川武秀県議会議員講演会
- ・ 木下一哉氏研修会
- ・ 寄稿 (富山県生活環境文化部環境政策課 様)
- ・ 寄稿 (氷見市長 菊地 正寛 様)
- ・ 寄稿 (富山県県議会議員 嶋川 武秀 様)
- ・ 第30回立山環境美化登山開催報告
- ・ 令和6年度要望活動報告



ご挨拶

富山県環境保全協同組合 理事長 廣瀬 淳

令和6年1月1日に発災した能登半島地震から1年8か月が経過しました。

富山県環境保全協同組合は、一般社団法人日本環境保全協会を通じ、環境省・災害廃棄物処理支援ネットワークD.Waste-Netの一般廃棄物の初動・応急対応として令和6年1月以降、令和7年1月までのべ1,121台（石川・福井・富山で構成される北陸環境保全協会として3,734台）のバキュームカーを派遣、仮設トイレの汲み取りの他、被災処分場から稼働している処分場までのピット間輸送を行い、その他塵芥車によるごみ収集も行いました。

災害支援を経験して、被災地を目の当たりにして地域防災力の向上の必要性を改めて感じ、特にトイレに関しては最優先の課題であることを実感しました。

組合会員は富山県内において各々の地域に根付いた業務をおこなっており、し尿収集や浄化槽汚泥ほか廃棄物収集、また下水道処理施設や農業集落排水施設、公共トイレ等の管理業務も行っております。

富山県と富山県環境保全協同組合はし尿収集における災害協定を締結していますが、災害の際にはバキュームカーやダンパー車が迅速な対応ができるよう、緊急車両として富山県公安委員会に登録をいたしました。

昨今は広域的な自然災害のみならず、線状降水帯の発生など限定されたエリアでの災害も頻繁に起こるようになり、市町村は災害が起きた場合を想定し仮設トイレやし尿収集の対応のほか、下水道の内水氾濫にも備えるほか、段ボールベッド、キッチン

カーなど様々な業種と協定を事前に準備をし、また下水道や浄化槽の損傷の確認や使用の可否などの判定も不可欠です。

これらの設置状況は各地域の業者が熟知しています。今後市町村とも協議を重ね災害協定の必要性を検討していかなければならないと考えています。災害面からもバキュームカーのあり方を検討し、配置することも必要です。

現在は下水道の普及に伴うし尿汲み取りの減少が著しく、県内でも廃業を余儀なくされている事業者は年々増加傾向にあり、その要因は市町村から受託する額が「業務を遂行するに足りる額」には及ばず、また人材の確保も年を追うごとに困難になり深刻な問題となっています。全国的にも一般廃棄物の委託金額についての議論がなされ、東京都環境局は一般廃棄物収集の委託業務に係る仕様書・原価計算書のマニュアルを公表し、国土交通省と厚生労働省も一般廃棄物収集業務原価計算書作成シートも公開されています。

今後、能登半島地震における災害支援の内容やその他災害における費用を検証し、市町村の自治事務である一般廃棄物収集が災害の際にも滞ることがないように行政と情報収集・交換、交流を強化し民間での災害対応や事業の継続ができるよう組合として活動してまいります。

最後に、被災され、今もなお不自由な生活を強いられている方がいらっしゃる中、一日でも早く平穏な日々を取り戻せるよう、心からお祈り申し上げます。

富山県環境保全協同組合 令和7年度第39回通常総会 《清掃協会・環境保全協会から65回目》



開催日：令和7年5月22日（木）

会 場：富山県環境保全協同組合1階会議室

《議案》

- 第1号議案 令和6年度事業報告承認の件
- 第2号議案 令和6年度収支決算承認の件
- 第3号議案 令和7年度事業計画（案）承認の件
- 第4号議案 令和7年度事業計画（案）承認の件
- その他

《令和7年度事業計画》

前年度事業を承継し深化を進め、協同組合と会員各社が相互の事業の発展と安定化を図り、両社が行う社会貢献活動を推進し、一般廃棄物処理事業の社会的地位の向上と組織力の強化を進める

担当	委員会	計 画	内 容
副理事 長	組合事業	廃棄物の処理及び清掃各業務の委託・許可・営業既得権益の確保に邁進する	一般廃棄物収集運搬マニュアル作成 市町村へ訪問説明
		県や市町村が行う下水道整備計画に伴って生ずる「下水道の整備等に伴う一般廃棄物処理業等の合理化に関する特別措置法」に基づく代替業務、および転配交付金の獲得に総力を結集し、関係機関に対し強力な陳情、要望要請活動を進める	要望書 将来構想
		市町村の固有事務であるし尿収集運搬業務の実態を訴え、相互連携して法令を遵守し、適正料金への改正運動を進める	原価計算書の作成 市町村
		共同購入事業の円滑な推進を図り、資材の共同購入事業の拡大を図る	共同購入の拡大
副理事 長	研修開発	浄化槽の保守点検及び清掃技術向上のため、講習会の開催及び啓蒙活動の実施、また、優良団体及び事業所の視察や業界の動向収集・分析を行う	先進地視察 研修会開催
		廃棄物の適正処理及びリサイクルを推進し、地域の環境保全と循環型社会の構築に寄与する	懇談会の開催
		将来に渡り持続可能な一般廃棄物処理事業の構築を図り、組合員相互が団結と融和をもって取組む	現状認識と将来予測
		震災復興の支援の経験を生かし、災害時のBCP（事業継続計画）作成と危機管理行動の研究を行う	復興の支援と震災対策から学びマニュアル作成
専務 理事	総務・広報	組合および組合員各社の認知度の向上や、環境問題の啓蒙を図るため、ホームページを充実させ情報の発信を行う	会報の発行 HPの更新・活用 各社の地域貢献事業の広報
		労働災害や交通事故を防止し、労働安全衛生の推進を図る	安全対策
		行政機関及び関係団体との連携を強化する・災害支援	日本環境保全協会、北陸環境保全協会の事業参加
		組合員の貢献に対し、行政や関係団体の表彰に積極的に推薦を行う	国、県ならびに関係団体からの表彰
	青年部会	組合を通じ、行政機関及び関係団体と連携し社会貢献活動を行う	立山環境美化登山

(一社)日本環境保全協会令和7年度定時総会 (第13回定時代議員会) 及び「特別講演会」

○開催日：令和7年6月9日(月)

○会 場：ホテルメトロポリタンエドモント

○第13回定時代議員会：

議事・報告

○特別講演会「9.30通知」について(予定)：

講師：松 崎 裕 司 氏

環境省 環境再生・資源循環局 廃棄
物適正処理推進課長

○参加者：5名(上田勝朗・廣瀬 淳・竹林 悟・
島 尚之・定塚 慎太郎)



挨拶をする廣瀬副会長



定時総会の様子



山条会長挨拶

(一社)日本環境保全協会賀詞交歓会

○開催日：令和7年1月21日(火)

○会 場：KKRホテル東京 瑞宝の間(10階)

○出席者：3名(上田 勝朗・廣瀬 淳・廣瀬 和夫)



北陸環境保全協会 令和6年度全体会議（石川県開催）

○開催日：令和6年10月23日（水）

○会場：日本の宿「のと楽」和倉温泉

○会議：

議題①令和5年度会務報告並びに収支決算報告

②各県の現状報告

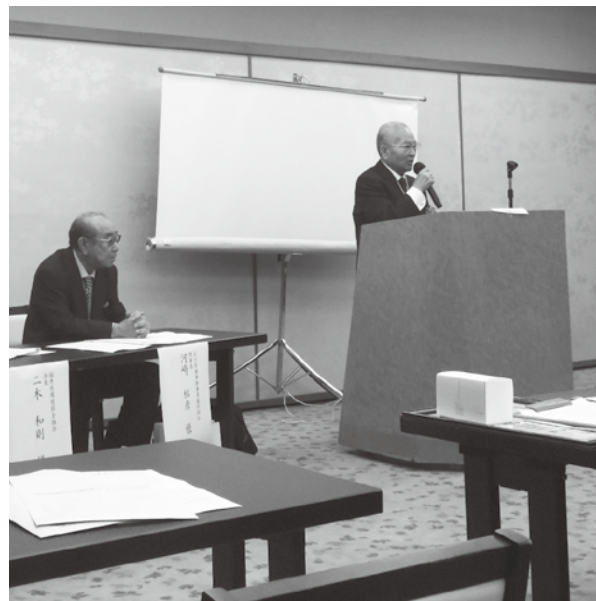
③その他

○講演会：

講師：大地主神社 宮司 大森重宣

演題：「身体文化としての祭りについて」

○参加者：13名（上田勝朗・針田正尚・原田義夫・
金井武史・廣瀬 淳・竹林 悟・
出村康夫・島 尚之・定塚慎太郎・
原野 誠・赤壁博之・棕野勝博・
渡邊一葉）



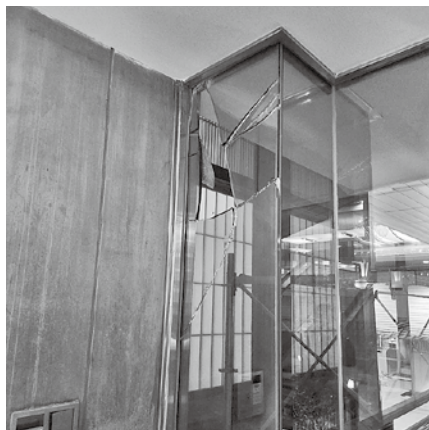
挨拶をされる（一社）日本環境保全協会
山条 忠文会長



令和6年1月1日の能登半島地震で被害を受けた
復旧工事中のロビー



エントランス



震災の爪痕が残る館内

能登半島地震・豪雨災害の復旧支援活動シンポジウム

○開催日：令和7年2月21日(金) 13:30～16:30

○会 場：富山県市町村会館ホール

○主催：(一社)全国浄化槽団体連合会

○共催団体：北陸環境保全協会(福井県環境保全協会、石川県廃棄物事業協同組合、
富山県環境保全協同組合)、(公社)石川県浄化槽協会、(公社)富山県浄化槽協会

○第一部：基調講演

①「令和6年1月1日能登半島地震災害復旧支援」

石川県廃棄物事業協同組合 事務局長 高橋 徳信 氏

②「能登半島地震災害対応と避難所トイレシステム」

(一社)全国浄化槽団体連合会 主査 平川 さくら 氏

○第二部：パネルディスカッション

「能登半島地震災害復旧支援で感じたこと、今後の対策」

パネリスト：全国浄化槽団体連合会 常務理事 昇 広文 氏

日本環境保全協会 副会長 廣瀬 淳 氏

石川県浄化槽協会 事務局長 高木 裕美 氏

石川県廃棄物事業協同組合 事務局長 高橋 徳信 氏

富山県浄化槽協会 前検査課長 江本 隆雄 氏

コーディネーター：全国浄化槽団体連合会 会長 上田 勝朗 氏



挨拶をする上田会長



パネルディスカッションの様子



講演 高橋事務局長



鳳至小学校
カートレーター



大屋小学校
軽トラカー



河井小学校
仮設トイレ



大屋小学校
トレーラーカー

富山県生活環境文化部環境政策課・富山県環境保全協同組合 第33回行政懇談会概要

○開催日：令和6年8月29日(木)

○会 場：富山商工会議所91-92号室

○ご来賓：富山県生活環境文化部環境政策課

担当課長 森 友子 氏、副主幹 山本 充巨 氏、

係長(リサイクル担当)早坂 英明 氏、技師 今多 奈緒 氏

○出席者：13名

《講演》

○演 題：「令和6年能登半島地震の被害とし尿処理の連携支援」について

講 師：富山県生活環境文化部環境政策課 副主幹 山本 充巨 氏



挨拶をされる森課長



行政懇談会の様子

富山県生活環境文化部環境政策課との新年研修会

○開催日：令和7年1月16日(木)

○会 場：富山県民会館706号室

○ご来賓：富山県生活環境文化部環境政策課長(廃棄物対策担当)

森 友子 様

富山県生活環境文化部環境政策課副主事(災害外廃棄物対策担当)

山本 充巨 様

富山県生活環境文化部環境政策課係長(リサイクル担当)

早坂 英明 様

富山県生活環境文化部環境政策課廃棄物対策係技師

今多 奈緒 様

○講 演：「BCPの策定及び災害時連携について」

講 師：今多 奈緒 氏、山本 充巨 氏

出席者：20名



挨拶をされる廣瀬理事長



講演の様子

一般廃棄物適正処理推進大会 in 香川

○開催日：令和6年11月15日(金)

○会 場：JRホテルクレメント高松

◇特別講演：「廃棄物処理・リサイクル行政の動向」

講 師：課長 松崎 裕司 様

環境省環境再生・資源循環局廃棄物適正処理推進課

○参加人数：8名(島 小一・島 正己・上田勝朗・原田義夫・廣瀬 淳・竹林悟・島 尚之・定塚慎太郎)



挨拶をされる山東昭子氏



挨拶をされる山条忠文氏



特別講演会環境省 松崎課長

受賞披露祝賀会 (第37階全国浄化槽大会席上)

《環境省環境再生・資源循環局長表彰》

○受賞日：令和6年10月1日(水)

富山県環境保全協同組合専務理事

(有)クリーンアクト砺波 前代表取締役 原野 誠 氏

《受賞披露祝賀会》

◇発起人：嶋田充宏氏、長田聖真氏、藤永吉成氏

◇開催日：令和6年12月3日(火)

◇会 場：オークスカナルパークホテル富山

◇出席者：20名



嶋川武秀県議会議員講演会

○開催日：令和7年2月4日（火）15:30～16:30

○会 場：富山県民会館613号室

○講 師：嶋川武秀 県議会議員

○演 題：「笑顔あふれる人生を」

出席者：16名



木下一哉氏研修会 （富山県中小企業団体中央会助成事業）

○開催日：令和7年2月28日（金）14:00～15:30

○会 場：富山県民会館612号室

○講 師：talkONE（株）代表取締役 木下 一哉 氏

○演 題：「富山の豊かさを、知る、支える、伝える。」

出席者：14名



図1 建築物の解体時等における残置物の取扱い(富山県)

3.2 廃家電や小型家電のリサイクル

廃家電や小型家電のリサイクルは、資源循環において極めて重要です。廃家電(テレビ、エアコン、冷蔵庫、洗濯機など)は「家電リサイクル法」に基づき、リサイクル料金を支払い、正規の回収ルートを通じて処理されなければなりません。また、小型家電に関しても、小型家電リサイクル法に基づく処理が必要です。しかし、無許可の回収業者がこれらを「リユース品」と称して引き取り、屋外に乱雑に保管したり、違法に分解処理したりする不適正事例が依然として多く見られます。このため、県では令和6年に「家電・小型家電等適正処理ポータルサイト」を開設し、県民・事業者の理解促進や注意喚起を行っています。



図2 家電・小型家電等適正処理ポータルサイト(富山県)

4 国の動向と金属盗対策

近年の金属価格高騰に伴い、スクラップを有価物として取り扱うヤードが全国で増加するとともに、不適正処理が顕在化し、規制の強化が求められています。環境省では、これらの問題を受けて、スクラップヤードの環境対策を強化し、適正な処理を確保するための全国で統一的な法制度の創設の検討を進めています。

また、エアコン室外機や電線などの金属製品が盗難にあうケースも同様に増加しており、これらの盗難対策として、警察庁では金属くず買取り業者に売主の身元確認や取引記録の保存を義務付ける金属盗対策法を令和7年6月に制定したほか、窃盗被害が急増している金属製物品の古物市場への流入を抑止するため、古物に該当する電線、グレーチング、エアコン等の室外機についても、取引金額の多寡にかかわらず本人確認義務等の対象とす

る古物営業法施行規則の改正(令和7年10月1施行予定)が見込まれています。

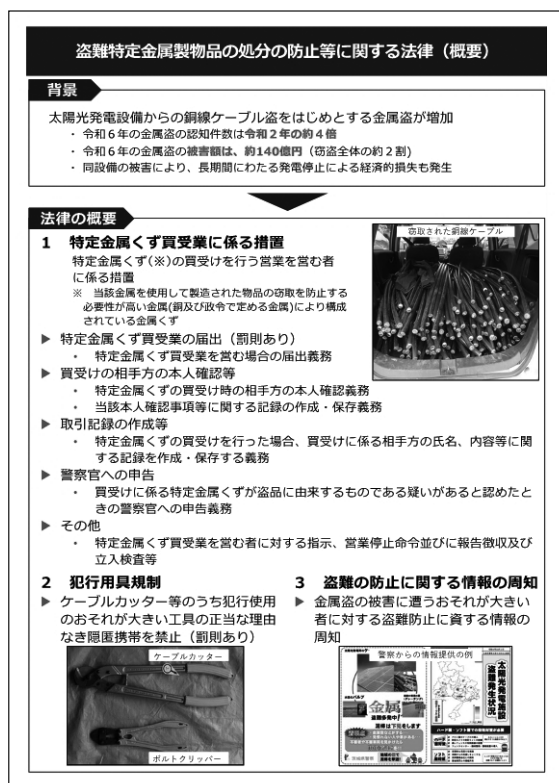


図3 盗難特定金属製物品の処分の防止等に関する法律(金属盗対策法)の概要(出典:警察庁金属盗対策ホームページ)

5 県の取組みと今後の展望

県では、全国の動向等を踏まえ、ヤード対策を一層強化するため、市町村・関係機関との連携した監視に取り組んでいます。また、市町村の広報や関係業界団体を通じて、県民及び事業者への資源循環や適正な廃棄物処理の重要性について、啓発活動を強化しています。

ヤード対策は、資源循環に向けた社会・経済を実現するために欠かせない重要な課題です。

今後とも、貴組合並びに組合員の皆様におかれましては、

- ⇒一般廃棄物の適正処理の推進、特に、廃家電・小型家電の正規ルートによる回収・処理の徹底
- ⇒不適正なヤードへの廃棄物の持込み防止に向けた情報提供
- ⇒市町村との連携による残置物の適正処理に関する周知協力

等について、引き続きご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

人・自然が循環共生する 環境にやさしいまち氷見を目指して

氷見市長 菊地 正寛

1 はじめに

氷見市は、能登半島国定公園に指定された海岸や海越しの立山連峰、里山・里海などの風光明媚な自然や地域資源に恵まれ、そこから豊かな食や食文化が育まれています。また、漁業においては「氷見の持続可能な定置網漁業」が日本農業遺産に認定されるなど、伝統的な農林水産業が営まれている地域として発展してきました。

しかし、近年においては、人口減少や少子高齢化が進行する中、地域における担い手や後継者不足による自然環境への影響が懸念されるところであり、加えて、地球温暖化がもたらす異常気象による自然災害の頻発化・激甚化など、さまざまな環境問題はより深刻さを増しています。

こうした本市を取り巻く社会経済情勢の変化やこれまでの取組みを踏まえ、令和3年3月に環境基本計画を策定し、環境と社会経済活動が調和したまちづくりに取り組んでいるところで



2 脱炭素型まちづくりの推進

地球温暖化防止に貢献するため、脱炭素型まちづくりを推進します。

まず、省エネルギー化の推進についてです。私たちの暮らしや事業活動に必要なエネルギーの大部分は化石燃料であり、この消費を抑制する省エネ化の取組みは、二酸化炭素排出量の抑

制にも直結します。引き続き、省エネ型設備機器等の導入に対し支援してまいります。

次に、再生可能エネルギーの地産地消の推進についてです。令和元年度から、国の「エネルギー構造高度化・転換理解促進事業費補助金」を活用し、市内13施設の電力量を一括管理し、施設間の電力需要調整を図るなど、エネルギーの高度利用の技術について調査・研究に取り組んでいます。

また、令和5年2月からは、市内2箇所の未利用地に設置した太陽光発電により発電した電力を公共施設間へ融通する自己託送事業を開始し、再エネの有効活用にも取り組んでいます。

さらに、令和2年度に設立した氷見ふるさとエネルギー(株)では、市内の個人や事業者を対象に省エネ設備や太陽光発電の導入提案から申請支援を行ってきました。令和5年度から着手した、太陽光発電設備整備事業では、北陸3県の第三セクターで初となるメガソーラー発電所を整備し、令和7年3月より稼働しています。今年度さらに3箇所の発電所が完成する見込みで、再生可能エネルギーの地産地消を推進し、脱炭素社会の実現に向けた取組みを着実に進めています。



3 3R・適正処理の推進

限りある天然資源やエネルギーを有効に使う「循環型社会」の実現に向けては、市民一人ひとりがごみの排出者としての自覚を持ち、3R（ごみの発生抑制、再使用、リサイクル）行動の実践を推進する必要があります。

また、一般廃棄物については、これまでも処理施設を維持管理し、適正に処理処分を行ってきたところでありますが、令和4年4月からプラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律が施行され、プラスチック廃棄物の排出抑制や再資源化など、プラスチックの資源循環を強化していくことになりました。

そこで、平成12年3月に竣工し、本市の資源ごみを適正処理してきた氷見市リサイクルプラザについて、現在処理しているプラスチック製容器包装に加え、硬質プラスチック類も一緒に処理ができるように、本年度から施設の更新工事に着手いたします。

これにより、プラスチック資源の一括回収が可能となり、市民にとっては分別の種類が減ることで、分別にかかる負担の軽減につながるものと思っております。

これからも、行政と市民が一体となって、ごみの減量化の推進、リサイクルの推進を図りながら、循環型社会の実現を目指してまいります。

4 おわりに

令和6年1月1日に発生した能登半島地震では観測史上最大の震度5強を観測し、家屋の全壊をはじめとする建物の損壊・損傷が多数発生したほか、発災直後から市内全域での水道の断水、加えて道路をはじめとするインフラ施設や公共施設にも大きな被害が生じ、市民生活と地域経済に大きな影響を及ぼす未曾有の大災害となりました。

あれから1年半が経過しました。令和7年度は、市民の皆様が復旧・復興を実感できるよう、能登半島地震対策にスピード感を持って取り組む「復興加速」と、人口減少などの課題に対応しながら、震災以前にも増して活力にあふれるまちをつくる「活力創造」を目指して取り組んでいるところです。

市民の皆様と力を合わせ、一日も早い「くらし・生活の再建」を実現し、将来にわたり幸せに暮らせる持続可能なまちづくりを進めてまいります。



二刀流の環境

富山県議会議員 嶋川 武秀



～「今」の笑顔作りは「漫才」で～

「オカンです！（勢いよくカツラを脱いで）男です！」

私オカンと相方関あつしとの漫才の冒頭のツカミ。今年でコンビを組んで丸18年。お陰様で日本テレビ「笑点」に年に一度は出演させていただけるまでになり、全国の皆さんに少しは知っていただけるようになりました。コンビを組んだ当初、オカンキャラは知名度ゼロ。その格好で街を歩くと「なんだあれ？」と気持ち悪そうに二度見されたものです。今では「オカンだ！」と言っている。本当にありがたい限りです。もう少し自慢させていただくと、ベテラン漫才師による賞レース、フジテレビ「THE SECOND」では、昨年に引き続き2年連続全国ベスト16位。2023年には国立演芸場・花形演芸大賞金賞を受賞。これは国が認めた漫才師！知名度向上はもちろん、ブレイクまであと一歩のところに来ています。まさに「環境」の変化を感じている今日この頃です、なんて自分で言いすぎですね。失礼しました。お笑いの話題はこのくらいにしまして。

～「未来」の笑顔作りは「政治」で～

能登半島地震発生以降、県議会では各議員から様々な質問がなされました。県議会では、議員による質問の当局答弁は担当課が用意し、それを担当部局長が議会で答弁するという流れなので、事前に担当課が各議員の元へヒアリングに来ます。私は震災時の「し尿処理」に関して、待遇改善や環境整備、理解促進を訴えました。関連する質問は近年ゼロだったそうです。担当者は大慌てで質問の嵐。何度も意見交換を重ね、お陰様で、私も質問に立つ前にしっかり調査、勉強をさせていただきました。

県議会最大会派の「自由民主党富山県議会議員会」には5つの部会があり、当時私は福祉環境部会に副部会長として所属しておりました。部会では各業界団体の皆様からのご要望を承り関係各所に働きかけをし、予算確保に取り組むわけですが、その活動の一環で「富山県環境保全協同組合」様とご縁をいただきました。そこで初めて知ったのが「し尿処理」業界の皆さんの震災応援対応、そして業界の歴史と現在置かれている「環境」でした。

組合員の事業者の皆さんは、震災発災直後から能登の応援に行かれました。組合員が富山県内広域で連携し、最初の1か月は泊まり込み、そして1日平均4台から8台のバキュームカーを稼働させ、合計1,121台の稼働をもって石川県の応援に駆けつけられたと伺っております。改めて、心から感謝を申し上げます。ありがとうございます。

このバキュームと言われるし尿分野は21社あったそうですが、時代とともに組合員も現在17社、そのうち今2社が廃業の検討をしているとのこと。それもそのはずで、し尿分野だけで見ますと全て赤字経営になっているということです。昔はこのし尿というのは肥料として売れた貴重な商品であり、その回収は立派な職業として市民に認識されていたとお伺いしました。今では下水道の普及に伴い、斜陽産業となっているとはいえ、今回の事例からも分かる

ように、上下水道が機能しなくなる災害時には、なくてはならない業界だと知るに至りました。一説に、「バキュームは赤字でもごみ収集で儲かってるんだからいいでしょう」なんていう声もあるとかないか。とんでもない。ごみ収集だって自助努力で利益を出し、その中で、このバキュームを保っているということをお伺いしております。ただでさえ他の業界と比べても人材確保が難しい中、廃業した事業者が担当していたエリアを、残った事業者がカバーをなくてははいけない。カバーをするにあたり、経営者の方からは「今までごみ収集しとった子に、じゃああなたは明日からバキュームやってね!」と言っても進んでやる若者はいない、この説得がどれだけ大変かという本音も聞かせて頂いております。公衆衛生・公共の利益のために気持ちを奮い立たせて事業を継続しておられること、感謝に堪えません。

能登半島地震から1年を経て、富山県市町村会館ホールにて全国浄化槽団体連合会によるシンポジウムが開催され、当時の状況や対応、残された課題を伺うべく私も参加しました。印象的だったのは、石川県の輪島から参加の事業者の方の発言でした。震災直後からの富山県のバキュームカーの応援に涙ながらに感謝を伝えておられ、こちら胸が熱くなりました。そして、発災時にはバキュームカーも緊急車両として一刻も早く通してほしいと。被害が甚大な地域の避難所で当時何が起きていたか。2000人が身を寄せる避難所、次の日には避難所のグラウンドが一面汚物まみれだったと。これが現実なんだと。とても大きな声で叫んでおられました。これは想像を絶する苛酷な状況、まさに心の叫びだと思っております。

組合の皆様とのご縁をいただき、シンポジウムにも参加させていただいた経験から、私自身も強い思いをもって議会質問に立たせていただきました。当局からは、「災害時におけるし尿の広域連携体制の確保は、公衆衛生の観点からも非常に重要と考えている。具体的には、県と富山県環境保全協同組合との間でし尿収集運搬の支援協定を締結し大規模災害における県内の広域的連携体制を強化。また、災害発生時における高速道路関係機関との間で、し尿の迅速な運搬に関し、災害発生前からバキュームカーの

緊急通行車両として事前確認、緊急通行車両確認証明書などの事前交付、災害発生時における高速道路などの無料措置の手続きを速やかに行うなどの制度の周知について緊密に情報共有などを図る。県として、し尿処理の広域連携による相互支援、また迅速な運搬体制の構築に向け引き続き取組を進める。」と大変前向きなご答弁をいただきました。「臭い物に蓋をする」答弁ではなかったことに内心ホッとしました。

バキュームカーの作業には、経験が要るそうです。

「あそこの家には犬がおるから入り口はこっちにせんなんあかんよ」

「あっち行くときはこんだけの導線要るから、ホースこんだけ持ってかんなんあかんがいよ」

業界の連携、事業の継続、地域の理解、これらは様々な「つながり」で成り立っています。このひとつひとつの「つながり」を皆で大切にして初めて「環境」が整うものと思っています。皆様の業界のより良い、そして持続可能な「環境」の醸成に向けて、私も笑顔作りを通して微力ながらお役に立てるよう引き続き笑進してまいります!



第30回立山環境美化登山

開催日：令和7年8月24日(日) 晴れ

開催場所：立山室堂周辺 参加人数54名 拾ったごみの数：182

今年度の美化登山は第30回目の開催となりました。ようやく準備や段取りに慣れてきたところでしたが、開催少し前に今回はいつも乗り合わせに使っている立山あるペン村が使えないと旅行会社より連絡があり焦りましたが、ご参加いただく県の職員の方に相談したところ何とか場所を確保することができました。また今回は天気予報は晴れで、前回ののような悪天候の心配がなく安心して当日を迎えることができました。



しかし、最近クマが県内各地で発見されており、立山も例外ではなく登山の数日前には室堂のみくりが池で泳いでいるクマが発見されていたそうで、この夏の暑さに堪えているのは動物も同じということなのでしょう。泳いでいるところを想像するとかわいらしいですが、被害がでないことを願う意味も込めて今回は人の多いキャンプ場周辺を歩いて回りゴミ拾いを行いました。前回と同様ですがキャンプ場周辺も利用者が多いにも関わらず落ちていたゴミは少なく非常にきれいに使われている印象でした。今回は頂上までは登りませんでしたが心地よい疲れで気分もスッキリし、次回も参加したいと思うような素晴らしい天候でした。

今回もご参加いただきました組合各社の皆さま、ご家族のみなさま、富山県の職員の皆さまに感謝いたします。次回も多くの皆さまにご参加いただけると幸いです。

青年部会長 針田 慶

令和6年度要望活動

市町村の委託又は許可で一般廃棄物の収集運搬業務を行っていますが、富山県環境保全協同組合として現場からの提案であったり、業務の安定、安全、安心のための要望等を毎年、県知事と県議会議員、市町村長と各議長に提出しています。都合がつけば市町村長に直接説明をすることもあります。私たちは法律を遵守しながら、住民の皆さんが安心して快適な生活ができるよう、日々こだわりを持って業務を行っています。行政においても担当者が数年で交代されるということもあり、情報提供として日頃の課題をお伝えする意味で要望書や陳情書を提出しています。

【令和6年度の要望概要】

- ・「一般廃棄物処理業務委託について安定かつ恒常的な適正契約締結について」
- ・「下水道の整備等に伴う一般廃棄物処理計画業務等の合理化に関する特別措置法（合特法）の遵守について」
- ・「単独処理浄化槽（みなし浄化槽）から合併処理浄化槽への転換について」
- ・「浄化槽の信頼向上のために警報器を義務付け」
- ・二酸化炭素排出抑制対策、省エネ型浄化槽導入補助金の活用
- ・建築物の解体時等における残置物（不要家財など）の取扱いについて
- ・県内市町村に災害時に使用し、災害支援にも活用できるよう移動可能な大型の仮設トイレの保有を推進、補助金の創設



富山県生活環境文化部 竹内 延和
部長に要望書を手渡す廣瀬理事長

富山県環境保全協同組合

〒930-0171 富山県富山市野々上字地送6番地
TEL (076) 434-2802 FAX (076) 434-4440

■(有)朝日衛生社

〒939-0733 富山県下新川郡朝日町月山2201
TEL (0765) 82-0585 FAX (0765) 82-2634

■(株)黒東アメニティ公社

〒939-0627 富山県下新川郡入善町桐山802
TEL (0765) 72-2822 FAX (0765) 74-1422

■黒部クリーン(株)

〒938-0015 富山県黒部市北野47-2
TEL (0765) 52-0047 FAX (0765) 52-5222

■(株)魚津清掃公社

〒937-0807 富山県魚津市大光寺61-1
TEL (0765) 22-0311 FAX (0765) 23-0536

■(株)公生社

〒938-0803 富山県滑川市栗山3596
TEL (076) 477-1114 FAX (076) 477-1628

■(有)婦中衛生

〒939-2753 富山県富山市婦中町笹倉11番地4
TEL (076) 465-5332 FAX (076) 465-5382

■クリーン産業(株)

〒939-8211 富山県富山市二口町1-7-13
TEL (076) 421-5626 FAX (076) 421-5640

■(株)アースクリーン21

〒934-0056 富山県射水市寺塚原905-3
TEL (0766) 84-6648 FAX (0766) 84-3650

■新高清掃(株)

〒939-0285 富山県射水市本開発550
TEL (0766) 55-1373 FAX (0766) 55-2315

■(株)アムテック

〒935-0025 富山県水見市鞍川1383
TEL (0766) 72-5656 FAX (0766) 72-1808

■(株)高岡市衛生公社

〒933-0008 富山県高岡市材木町731
TEL (0766) 23-2228 FAX (0766) 28-1154

■デムラ工業(株)

〒933-0806 富山県高岡市赤祖父557-3
TEL (0766) 23-7155 FAX (0766) 23-2495

■(有)クリーンアクト砺波

〒939-1345 富山県砺波市林1316
TEL (0763) 32-1235 FAX (0763) 33-2431

■日環サービス(有)

〒939-1542 富山県南砺市梅ヶ島167-1
TEL (0763) 22-2922 FAX (0763) 22-7347

■(有)福岡クリーン・アルファ

〒939-0121 富山県高岡市福岡町下老子4
TEL (0766) 64-6677 FAX (0766) 64-6668

■(有)小矢部衛生工業

〒932-0121 富山県小矢部市矢水町672
TEL (0766) 61-4277 FAX (0766) 61-4258

■(有)井波庄川衛生工業

〒932-0315 富山県砺波市庄川町示野182
TEL (0763) 82-1164 FAX (0763) 82-6665